

「夢を語ろう」



平成21年は五年です。来年は、狙いを定めてぶつかり合う闘牛のように、皆さんも、それぞれの夢や目標に向かって挑戦してほしいと思います。

今号では、清水雅文町長と広報編集委員会委員の4名が「新春夢放談」として、平成21年の愛南町のまちづくりについて、自由に語り合いましたので、その主な内容についてお知らせします。



清水雅文町長

（町長）私は、町民の融和を図る上で、□先だけでなく、真の公平、公正な行政運営をめざしていきたいと考えています。職員に対しても、柔軟な発想で「この施策は、町民のためになるのか」という視点で施策を立案してほしいと思っています。そんな職員を、年齢を問わず登用していきたいと考えていますし、若い職員のアイデアを活かせる弾力性のある行政組織をめざしていきたいと思っています。そのアイデアを、限られた財政の中で、実現できることから実行していく、そんな行政運営を行いたいと考えています。

（橋本）私は、町長さんが話された「町長や職員が、役場に閉じこもっている時代ではない」ということに興味を抱きました。私も、

こんな行政組織で

ありたい・・・

これからの役場職員は、町民の期待する要望を具体的な施策に反映させる能力が問われていると思いますし、職員



の意識改革が求められていると思
います。

(町長)そうですね。まだ、就任し
て間もないので、これから、職員
とのコミュニケーションを深めて
いきたいと考えています。できる
だけ組織の壁をなくし、職員と互
いの思いをぶつけ合いたいと思っ
ています。また、行政職員には、
町民との信頼関係を築いてほしい
と期待しています。

地場産業の 活性化をめざして

(中村)若い方から、仕事がないと
いう声をよく聞きます。地場産業
が低迷しているので、企業誘致等
を積極的に進めてほしいと思いま
す。

(町長)就任前は「近畿圏等に事務
所を設けて、愛南町の良さを企
業に紹介するなど、積極的な企業
誘致をしてはどうか」という考え
を持っていました。しかし、現在
は、米国のサブプライムローン問

題に端を発した世界的な金融危
機、個人消費の低迷による企業
の業績不振による人員削減な
ど、好調だった企業等も深刻な
経営状況にあるようです。この
ような社会経済情勢を踏まえな
がら、新たな方策を模索する必
要があると感じています。

先般、御荘長崎の町有地で操
業している四国部品株)から、
平成21年3月末で撤退するとい
う報告を受けました。とても残
念に思いますが、その中で「今
の建物を壊して更地にして町に
返還するのか、そのまま建物を
町が引き取ってくれるのか」と
いう相談を受けました。私は、
例えば、農産品の加工場等、有
効利用できるものがあると思い
ますので、前向きに検討してい
きたいと思っています。

(小野山)私は、専業農家でみか
ん栽培に取り組んでいます。大
きな企業を誘致することも
重要だと思っています。同時に、
地場産業を育てることも必要だ

と感じています。四国
部品の工場や利用して
いない公共施設等があ
れば、農産品の加工場
等、頑張ろうとする個
人や企業に施設を貸し
てほしいと思っています
す。

(町長)そうですね。国
や県の補助を受けて建
てられた公共施設など
は、建設当時の目的外
の使用をする場合、国
や県の許認可が必要に
なります。今後、未利用の公共
施設等の利活用については、生
産者の方や担当課と協議してい
きたいと思っています。

(小野山)農業以外でもそうだと
思いますが、新しいことをする
場合、国等の補助もあると思う
ので、職員の方も、生産者に補
助の有無を積極的に教えてほし
いと思います。

(町長)そういう要望がありまし
たら、是非、役場に相談に来
てください。できる限りの支
援をしたいと思っています。私は、
愛南町には、自然景観や特産品



小野山かをり委員

など、いい素材があると思っ
ています。今後、愛媛大学南予水
産研究センターのように、農の
分野でも愛媛大学との連携を深
めていければと考えていますの
で、ご協力をお願いします。
(中村)そうですね。都会から帰
られた方は、食べ物もいし、
風景もいい、もっとPRすれば
いいのにとよく言われます。
(町長)そうですね。食べ物や風
景など、私たちには普通なこと
で、特別なこと、素晴らしいこ
とだということに気付いていな
いような気がします。

(小野山)長年、加工品等の指導をしてもらっている別府大学の先生は「今まで商品という形にした方がいない。やはり、ここは、生活に対しての切迫感がない」と話されています。

(町長)そうですね。新しいことに挑戦するということは、大変なエネルギーが必要です。今、私は「まず、実践してみる」ことが問われていると感じています。情報化の時代ですから、町を愛する町民の情熱、思いをPRすることで、その思いに賛同してくれる支援者が、必ず現れてくると信じています。

(濱本)今まで話されたように、第一次産業が活性化することはいいことだと思いますが、商業というか、商店街の活性化も考えてほしいと思います。



橋本百代委員

力を伸ばすとして「合併しない宣言」など、個性的な取り組みで全国的に注目を集める矢祭町という町があります。この町は、商店街の発行するスタンプ券を活用して、固定資産税や保育料等の町税を支払うことができるという取り組みを実践しています。そういう先進的な市町村に、是非、職員を派遣したいと考えています。

安心できる 医療体制をめざして

(橋本)私は、医療と福祉について、町長さんに質問したいと思っています。今、県立南宇和病院の麻酔科医が週3日しかいないという状況で、町民が安心して利用できる医療体制を確立してほしいと思っています。

(町長)先般、県庁でも、強く要望してきましたが、深刻な医師不足で厳しい状況です。しかし、町の医療の中核である県立南宇和病院の医師確保については、根気強く愛媛県等に要望し「急病など、もしもの時」に対応できる医療体制の確立をめざしていきたいと思っています。

教育環境の 充実をめざして

(濱本)町長は、学校の統廃合については、再

検討するということをお話されたと思いますが、今後、どういう方向で検討をされるんですか。

(町長)私は、学校統廃合に関しては、現在の計画を基に、今後、地区や保護者の皆さんと話し合っていくことが必要だと思っています。現在、統廃合に反対している方も、もっと、膝を突き合わせて話し合えば、頭から反対だという方は少ないのではないかと感じています。ですから、もう一度、統廃合の有無について「子供たちの可能性を



濱本秀雄委員

伸ばすため、どのような教育環境が望ましいのか」という視点で、話し合うことが重要だと考えています。

平成21年の夢や目標は

います。そして、多くの方と触れ合うことで、自分を高めていきたいと思っています。

(小野山)今、取引先がいう「農産物の加工場を作ったら」という時に、加工場ができればいいなあと思っています。

(濱本)町長さんは、スポーツが好きで力を入れていかれると思います

(小野山)体協陸上部もがんばっているので、高校駅伝のような大きなイベントを愛南町で実施できればいいですね。

が、宿毛市のように文化活動にも力を入れてほしいと思っています。

また、文化面だけではなく、宿毛市との交流を活発にしてほしいと思います。

(町長)そうですね。愛南町の選手は、宿泊をして大会に参加することが多い訳ですが、こちらで大会を行えば、宿泊等、愛南町の地域経済も潤うことになると思いますよね。



中村由紀子委員

(橋本)私は、まず自分を大切にすることが、他人を大切にすることにつながると思います。ですから、健康な体を維持し、誰かを支援できる毎日を過ごしていきたいと思っています。

いききたいと思っています。

最後に、町民感覚を忘れず、平成21年のまちづくりを進めていきたいと思っていますので、皆さんのご協力、ご支援をお願いします。

(中村)私も、橋本さんと同意見ですが、健康な毎を送りたいと思

体と精神を育てる力があると

思います。

